

令和3年度 決算状況	団体コード 132071	市町村類型 Ⅲ-3	市町村名 昭島市	令和3年度交付税種地区分 Ⅱ-8	入					性 質 別 歳 出																																				
					区 分	決算額 千円	構成 比 %	経常一般 財源等千円	構成 比 %	区 分	決算額 千円	構成 比 %	充当一般 財源等千円	経常経費充当 一財等千円	経常収支 比率 %																															
																地 方 譲 与 税	地 方 債 借 付 金	利 子 割 付 金	配 当 割 付 金	株 式 等 譲 渡 所 得 割 付 金	地 方 消 費 税 交 付 金	ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	特 別 地 方 消 費 税 交 付 金	自 動 車 取 得 税 交 付 金	自 動 車 税 理 想 性 能 割 付 金	法 人 事 業 税 交 付 金	地 方 特 例 交 付 金	地 方 交 付 税	内 務 事 業 特 別 交 付 金	交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	国 有 提 供 施 設 交 付 金	小 計	使 用 料	手 数 料	国 庫 支 出 金	都 支 出 金	財 産 収 入	寄 附 金	繰 上 金	繰 越 金	諸 収 入	地 方 債 借	(うち臨時財政対策債)	合 計	議 会 費	総 務 費
人 口	指定団体等の状況	事務の共同 処理の状況	指 数 等		地 方 譲 与 税	20,669,603	39.1	19,151,586	79.9	人	人 件 費	5,856,516	11.8	5,322,695	5,276,410	21.2																														
令和2年	113,949人	過 疎 (首都)	<ごみ・し尿処理>	基準財政需要額	17,274,454千円						うち職員給	3,449,337	7.0	3,108,817	3,104,121	12.5																														
増減率(2/27)年	2.2%	山 村 (近郊整備)	東京たま広域資源循環組合	基準財政収支	16,296,851千円						扶 助 費	18,328,601	36.9	3,679,716	3,651,677	14.7																														
4.1.1	113,829人	離 島 (既成市街地)	<収益事業>	標準財政規模	22,997,159千円						公 債 借 付 金	1,960,549	4.0	1,960,549	1,960,549	7.9																														
対前年度増減率	0.24%	不交付	<収益事業>	臨時財政対策債	1,235,625千円						元 利 償 還 金	1,960,548	4.0	1,960,548	1,960,548	7.9																														
4.1.1	30,206人	広域行政区	東京都市十一市競輪事業組合	発行可能額	0.970						一 時 借 入 金 利 子	1	0.0	1	1	0.0																														
面積	17.34K㎡		東京都六市競艇事業組合	財政力指数	0.970						小 計	26,145,666	52.7	10,962,960	10,888,636	43.8																														
令和3年度	令和2年度			単年度(0.943)	0.970						物 件 費	8,441,359	17.0	4,778,335	4,517,791	18.2																														
1歳入総額	52,893,142	56,527,538	<その他>	実質収支比率	14.1%						維 持 補 修 費	283,985	0.6	267,607	267,607	1.1																														
A			東京市町村総合事務組合	公債費負担比率	6.5%						補 助 費 等	4,353,667	8.8	3,436,282	2,487,178	10.0																														
2歳出総額	49,581,461	54,700,665	立川・昭島・国立聖苑組合	経常収支比率	84.1%						積 立 金	3,369,716	6.8	3,275,719																																
B			東京都後期高齢者医療広域連合	(87.2%)							投 資 ・ 出 資 ・ 貸 付 金																																			
3歳入歳出差引額	3,311,681	1,826,873	地方債現在高A	18,031,351千円							繰 上 金	4,383,104	8.8	3,790,844	2,736,761	11.0																														
(A-B) C			債務負担行為翌年度以降支出予定額B	3,553,698千円							前 年 度 繰 上 充 用 金																																			
4翌年度へ繰り越すべき財源	72,130	247,576	積立金現在高C	16,192,796千円							投 資 的 経 費	2,603,964	5.3	473,594	30,297,022千円																															
D			(うち財政調整基金)	(8,554,975)							うち人件費	90,053	0.2	90,053																																
5実質収支	3,239,551	1,579,297	実質的将来財政負担額	5,392,253千円							普 通 建 設 事 業 費	2,603,964	5.3	473,594	経常経費充当一般財源等																															
(C-D) E			A+B-C	249,262千円							補 助	940,126	1.9	19,233	20,897,973千円																															
6単年度収支	1,660,254	261,142	収益事業収入額	30,000千円							単 独	1,663,838	3.4	454,361																																
F			健全化判断比率								そ の 他																																			
7積立金	2,716,809	697,883	実質赤字比率	- (12.23)%							災 害 復 旧 事 業 費				減収補填債特例分																															
G			連結実質赤字比率	- (17.23)%							失 業 対 策 事 業 費				猶予特例債及び																															
8繰上償還額	0	0	実質公債費比率	0.4 (25.0)%											臨時財政対策債を																															
H			将来負担比率	- (350.0)%											歳入経常一般財源																															
9積立金取崩額	0	0	地 方 債 借	1,366,400											等に加えない場合																															
I			国庫支出金	15,176,729											の経常収支比率																															
10実質単年度収支	4,377,063	959,025	都支出金	6,995,682											87.2%																															
(F+G+H-I) J			財 産 収 入	37,574																																										
			寄 附 金	110,117																																										
			繰 上 金	367,805																																										
			繰 越 金	1,826,873																																										
			諸 収 入	401,875																																										
			地 方 債 借	1,366,400																																										
			(うち臨時財政対策債)	897,000																																										
			合 計	52,893,142	100.0			23,961,015	100.0																																					
			合 計	49,581,461	100.0			26,985,341																																						

注1 経常収支比率の()は、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債を歳入経常一般財源等に加えないで算出した率
注2 健全化判断比率の()は、早期健全化基準
注3 一般職員及び公営事業の状況には、会計年度任用職員(パートタイム)は含まない。